

●ふれあい福祉相談室（貸付に関する事等） ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。また、人権困りごと相談・行政相談・保育サポート相談室を新設しています。秘密は堅く守ります。相談は無料です。

- ①生活福祉資金 貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対する資金貸付
- ②司法書士専門相談 毎月第2・第4金曜日の14:00~16:00(予約制)
- ③人権困りごと相談室 毎月第4金曜日の14:00~16:00
- ④定例行政相談所 毎月第3金曜日の10:00~12:00

●那覇市障害者生活支援センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454 FAX.857-6052

在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。

- 在宅福祉サービスの利用援助
- 社会資源を活用した支援
- 社会生活力を高めるための支援
- ピア(同じ仲間)サポート
- 障がい者居住サポート
- サービス利用計画の作成

●日常生活自立支援事業 地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分で、在宅にて生活している方々を利用対象者としています。専門員が相談を受けて、それから契約を結びますと生活支援員がお手伝いします。

●ボランティア(活動保険・行事用保険)の問い合わせ ☎ 857-7766

ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償責任を補償します。

●居宅介護事業 ☎ 891-8236

安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援をおこないます。

●通所介護事業 (デイサービスあしびなー) ☎ 859-8383

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

●訪問介護事業 (ホームヘルプステーション わかば) ☎ 859-8383

自宅に、介護福祉士やホームヘルパーなどの介護専門職が訪問し、入浴、排泄、食事等の介護など日常生活上の世話をするサービスです。

介護ポイント 熱～い沖縄の夏熱中症に気をつけて…

熱中症の症状

- <めまい・失神>「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になっている
- <筋肉痛・筋肉の硬直>「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います
- <頭痛・気分の不快・吐き気・倦怠感>身体がぐったりする、力が入らない
- <意識障害・痙攣>呼びかけに回答しない、ひきつけがある、歩けない
- <高体温>身体に触ると熱いという感触です

熱中症対策

- ★風通しのよい日陰や、出来ればクーラーが効いている場所へ避難させましょう
- ★衣服を脱がせ、身体から熱の放散を助けます
- ★冷たい水を与えます(スポーツドリンク最適です)
- ⑤ぐったりして、自力で水分補給が出来ない場合は、緊急で医療機関に搬送することが最優先です
- *熱中症になる前にこまめに水分補給をしましょう！
- *少しでも異常に気づいたら本陰で休憩することをお勧めします！

生活支援員になりませんか (日常生活自立支援事業)

高齢者や障害のある方で自分で判断することが困難な方々の市役所や銀行での手続きや支払いのお手伝いをいたします。



お仕事の主な内容

- ・公共料金や病院代の支払いを本人と一緒に(または、代わりに)に行う。
- ・役所や郵便局などで行う手続きの説明や、本人が行う手続きに付き添う。
- ・本人とのコミュニケーションを通じて、相談や要望を聞く。
- ・相談、要望に応じて、本人が自身で判断できるようなアドバイス・情報提供をする。

- 月数回から。●毎回1時間～2時間程度のお手伝いです。
- 社会福祉協議会の職員が活動のサポートをします。
- 資格等は特に必要ありません。

寄附者ご芳名

(平成27年2月21日～平成27年5月20日までの寄附金状況) 敬称省略 寄付金総額 1,585,768円

【一般寄付】

ナザレ幼稚園、上山中学校57期新成人一同、本願寺沖縄別院、イオン那覇同友会、NPO法人日本入国リサイクル協会、株いなんせ典礼、株松山興産、沖縄県酒造協同組合、第6回チャリティカラオケ実行委員会、JAおきなわ真和志支店、JAおきなわ小禄支店、JAおきなわ小禄支店女性部、山根春代氏社会教育功労者表彰受賞祝賀会実行委員会、安里昌利、金城信榮

【香典返し】 宇良艶子

平成26年4月1日～平成27年3月31日

寄付金総額 7,808,101円



上山中学校成人式寄付金贈呈式

■これからの社協及び関連行事

6月	6月1日(月)	「なは社協だよりNO129」発行
	6月8日(月)～24日(水)	いれいの日パネル展示:那覇市総合福祉センター展示ホール
	6月16日(火)	第27回チャリティゴルフ大会:喜瀬カントリークラブ(名護市:7:00スタート)
	6月20日(土)	金城・小禄・識名児童館合同戦跡めぐり
	6月23日(火)	慰霊の日
7月	6月24日(水)	3世代交流七夕会(金城老人憩の家・児童館)
	7月1日(水)	「那覇市ボランティア・市民活動センター情報」7月発行
	7月10日(金)	第29期理事会
8月	7月20日(月)	なはの日清掃
	8月3日(月)	「那覇市ボランティア・市民活動センター情報」8月発行
	8月14日(金)	那覇市総合福祉センターAED講習会(予定)
	8月20日(木)	旧七夕
	8月23日(日)	24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティ街頭募金(予定)
	8月26日(水)	旧盆(ウンケー)
	8月28日(金)	旧盆(ウーケイ)
9月	9月1日(火)	「なは社協だよりNO130」発行
	9月3日～5日	巨大めいろ(金城児童館)
	9月中旬	那覇市総合福祉センター消防訓練(予定)
	9月21日(月)	敬老の日(識名・小禄老人福祉センター・金城老人憩の家の3施設は、開館)
	9月23日(水)	秋分の日

社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

〒901-0115 那覇市金城3-5-4 TEL. 098-857-7766 FAX.098-857-6052
http://www.nahasyakyo.org e-mail:info@nahasyakyo.org

こう毎日が暑いと地球温暖化が少しずつ進行しているのかと感じます。台風の発生も月ごとに増えています。人は水分補給をこまに行い、熱中症対策をしています。1人暮らしのお年寄りの方には、冷房機が必要です。自分の体温変化がわかりづらいこともあり部屋の中で就寝中に熱中症になってしまうそうです。気を付けましょう。

なは ふれあいネットワーク
社協だより

NO. 129
平成27年6月1日

発行: 社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 〒901-0115 那覇市金城 3-5-4
TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052 (e-mail) info@nahasyakyo.org (URL)http://www.nahasyakyo.org

福祉体験教育



社協会員募集

笑顔あふれる
支え合いのまち なは



緊急医療情報キット配付事業 (安否確認)

ボランティア活動支援



避難訓練 (マップづくり)



ふれあい・いきいきサロン (見守り事業)



社協会費って何に使われているの？

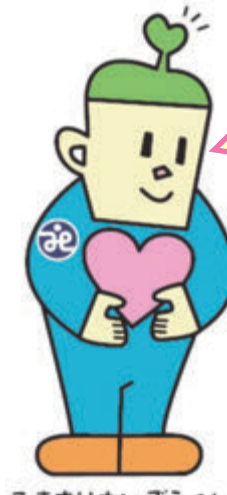
市内各地域の福祉活動に使われています！

例えば・・・

小地域において住民主体による地域福祉活動・居場所づくりとして『ふれあい・いきいきサロン』の実施・運営費として活用しています！

健康上不安を抱える高齢者及び障がい者等に対し、かかりつけ医療機関情報、持病等、緊急時に必要な情報を保管する『緊急医療情報キット』を配付し、緊急時および災害時に迅速に対応できるようにしています。

また、今年度は大規模災害を想定して災害ボランティアセンター設置訓練を行います！



みまもりたいぞうくん

はいさい！
僕は「みまもり たいぞう」といいます。
僕は那覇市内の地域における見守り体制を推進しています！地域での孤立を減らし、那覇市に住む人々が「思いやりの気持ち」を大事に育んでいけるように支援をしていきます！
みなさま、ゆたさるぐとぅうにげーさびら！

- ◆笑顔あふれる支え合いのまち那覇1
- ◆平成 26 年度那覇市社会福祉協議会事業報告並びに決算について.....2・3
- ◆平成 27 年度那覇市社会福祉協議会事業計画並びに予算について4
- ◆活動アラカルト5
- ◆コーディネーター訪問6
- ◆ボランティアセンターだより7
- ◆社協ひろば8

1. 組織の基盤整備

- (1) 会務の運営
①理事会 (4回)・評議員会 (4回)
②三役会議等開催 (三役会議20回、業務調整会議9回、事業・企画検討会議46回)
(2) 会員の拡充強化
①正・賛助会員の加入拡大 (8,523件)
(3) 福祉活動の財源の確保
①赤い羽根共同募金 (26,023,353円)
②歳末助け合い募金 (11,644,183円)
③チャリティー事業等の推進 (1,933,401円)
④卓上募金活動の推進 (23,065円)
⑤自動販売機の設置 (28,140円)
⑥不要入れ歯回収ボックスの設置 (18,484円)
(4) 事務局体制の基盤整備
(5) 研修の推進
①役職員研修会の開催 (4回)
②各種研修会への参加派遣 (31回)
(6) 那覇市社会福祉協議会第3次強化・発展計画推進評価委員会
(7) 福祉サービス苦情解決機能強化 (第三者委員会1回開催)
(8) 各種規程・規則等の整備
(9) 定期監査

2. 地域福祉活動の推進

- (1) 抜け漏れのない実態把握事業
・民生委員・児童委員活動の支援
(2) 生活課題検討・調整事業
・地域見守り支援ネットワーク活動の推進 (見守り隊設置7箇所)
・地域福祉推進会活動の支援助成 (3団体240,000円)
・ふれあい・いきいきサロン事業の推進 (新規5箇所 活動助成40か所)
(3) 抜け漏れのない支援実施事業
・緊急医療情報キット配布事業 (387件、総配布件数1,147件)
・見守り訪問ティッシュ配布安否確認支援事業 (254世帯)
・地域見守り・交流事業 (34回、参加者1,695人)
(4) 地域支援活性化事業
・地区コーディネーターの配置 (リーダー4名、地区コーディネーター8名)
・住民懇談会の推進 (四者会議3回開催、単位民児協懇談会16回開催)
・自治会・住民組織活動の支援助成 (6地区、733,000円)
・地域世代間交流事業の支援助成 (67件、1,340,000円)
・小学校校区コミュニティ協議会等への参画 (与儀、石嶺小学校コミュニティ協議会、若狭、銘苅小学校区まちづくり協議会)
(5) 住民参加型まちづくり普及啓発事業
・福祉協力員養成事業の推進 (6回開催、参加者79名、94名委嘱状交付)
(6) 自主財源の確保 (地域福祉フェスタ2014、うるく童まつり)
(7) 地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定
(8) 地域ふれあいデイサービス事業の実施 (市受託) (新規5箇所開所、117箇所、延べ参加者56,708人)

3. ボランティア活動・福祉教育の推進

- (1) 啓発広報活動の推進
①「那覇市社協ボランティア・市民活動センター情報」誌の発行 (8回発行、56000部)
②ボランティアBOX事業 (収集ボランティア) の推進 (121個 換金額167,551円)
(2) ボランティアコーディネート活動の推進
①ボランティアコーディネート活動の推進 (351件 3,223人)
②歳末おそうじ隊事業の実施 (対象33件 支援機関15機関 ボランティア157人)
③紙オムツプレゼント事業の実施 (28人へ贈呈)
(3) ボランティア養成及び研修事業の推進
①ボランティア養成講座の開催 (おそうじボランティア教室等2回開催 述参加者163)
②ボランティア関係団体研修会の開催 (発達障がい児サポーターボランティア支援、各種研修会等参加)
(4) ボランティア活動支援
①ボランティア活動支援助成 (10団体280,000円)
②ボランティア活動関係機関連絡会の開催
④ボランティア保険の加入促進 (加入194件11,967人 事故処理3件)
①ボランティアサロンの管理運営 (サロン77件1,328人 ま

- わし499件5,999人)
⑤那覇市社協ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催 (1回開催)
(5) ボランティア活動・福祉教育の支援
①那覇市学校ボランティア学習推進協議会活動の支援助成 (助成4校80,000円、共同募金街頭募金活動への参加、活動実践者表彰8名、2団体、福祉用具貸出事業として車イス175台、アイマスク・白杖431個、高齢者模擬体験36セット等)
②福祉教育・福祉体験学習活動の支援 (13校23回実施) 福祉教育研修会等実施
(6) 災害救援ボランティア活動の推進
①沖縄県社協災害ボランティアセンター設置訓練の参加 (名護市)
②那覇市総合防災訓練、災害時支援検討部会への参加
(7) 企業の社会貢献活動の推進 (4社、手すり取り付け工事、環境整備、クリスマスケーキの寄贈等)

4. 広報活動の推進

- (1) 社協会報「社協だより」の発行 (1回8000部4回発行)
(2) 第38回那覇市社会福祉大会の開催 (市補助) (感謝9件・表彰49件 参加者360人)
(3) 福祉情報コーナーの設置運営
(4) インターネットホームページの運用 (URL http://www.nahasyakyo.org)
(5) 移動広報車の活動推進・軽トラックの購入事業
(6) 「沖縄県からゆし長寿大学校」の推薦協力 (6名推薦)

5. 福祉関係団体活動の支援助成

- (1) 福祉関係団体等活動の支援助成 (15団体3,976,000円、)
・障がい者関係団体等への支援助成 (7箇所315,000円)
(2) 福祉関係団体連絡会の開催 (単位民児協定例会、障がい者関係団体、那覇市身協事業への参加協力)
(3) 相談支援事業関係事業者連絡会への参画
(4) 介護保険事業関係事業所連絡会への参画

6. ふれあいのまちづくり事業の推進

- (1) ふれあい福祉相談事業の運営、
①専任相談員の配置、相談員5名 (相談件数346件)
②専門相談員 (司法書士) 6名 (17回実施、相談件数32件)

7. 貸付等援護活動の推進

- (1) 生活福祉資金貸付事業の実施 (県社協受託) (相談件数 14,347件)
①生活福祉資金貸付 (281件、貸付金額 53,735,000円)
(2) 助け合い金庫貸付事業の実施、滞納世帯の借受人及び保証人調査及び償還活動 (11月実施)
ア、整理対象件数9件 (内1件完済)
(3) 法外援護活動の実施 (198件、物品1,521個、援護金1件、50,000円)
(4) 重度心身障害者医療費等貸付事業の実施 (市補助) (534箇所延べ57,083件)

8. 権利擁護支援事業の推進

- (1) 日常生活自立支援事業の推進 (県社協受託)
・福祉サービス利用支援・日常的金銭管理、書類等預かりの実施 (契約件数102件)
(2) 生活保護世帯金銭管理支援事業の推進 (市受託)
・福祉サービ利用支援・日常的金銭管理、書類等預かりの実施 (契約件数73件)
(3) 法人後見事業の実施 (受任件数5件)

9. 障がい者相談支援事業の推進 (市受託)

- (1) 那覇市相談支援事業 (市受託)
①障がい者総合相談の実施 (実人数345人)
②ピアサポーターによる相談援助の実施 (支援件数延べ448件)
③那覇市障がい者居住サポート事業の実施 (申請件数12件、契約件数1件)
④那覇市障がい者自立支援協議会への参画
⑤相談支援機能強化事業の実施
(2) 一般相談支援事業
(3) 特定相談支援事業 (新規及び更新契約209件、モニタリング件数 523件)
(4) 障害児相談支援事業 (新規及び更新契約78件 モニタリング121件)

10. 子育て支援事業の推進

- (1) 子育てサロン活動の支援 (4件)

- (2) 専門講師派遣事業の実施 (市受託) (77園、述実施回数430件)
(3) 育児支援家庭訪問事業の実施 (市受託) (派遣件数991,5件)
(4) ファミリーサポートセンター事業の実施 (市受託) (会員数2,507人述べ利用件数10,230件)
(5) 病児・緊急対応強化事業 (述べ利用件数753件)
(6) ひとり親等の利用支援事業の実施 (新規市受託、サポート券利用枚数818枚)
(7) 那覇市つどいの広場事業の実施 (市受託) (3箇所金城、識名、小祿児童館)
(8) 保育活動教材貸出事業の実施 (34園、貸出物品90点)

11. 在宅福祉サービス活動の推進

- (1) リフト付きバス運行事業の実施 (市受託) (2,644件)

12. 介護サービス事業の推進

- (1) 介護保険居宅介護支援事業所の経営 (予防521件 介護1,148件)
(2) 介護保険指定通所介護事業の経営
①デイサービスあしびなー (通所介護) (延べ利用者数619人)
(3) 介護保険指定訪問介護事業の経営
①ホームヘルプステーションわかば (訪問介護) (述べ利用者813人)
(4) 障がい福祉サービス事業所の経営 (利用者1,355人)
(5) 移動支援事業の実施 (市受託) (延べ利用者299人)
(6) 一般旅客運送事業 (福祉有償移送事業) の実施 (1,960件)
(7) 介護保険・障がい福祉サービス制度外サービスの実施 (117件1,472,385円)
(8) 介護保険・障害福祉サービス事業経営検討会議の開催

13. 那覇市総合福祉センターの指定管理運営

- (1) 総合福祉センターの管理運営 (延べ利用者数101,360人)
(2) 金城老人憩いの家の指定管理運営 (延べ利用者数28,292人)
(3) 金城児童館の管理運営 (延べ利用者数43,482人)
(4) ボランティア室の管理運営 (延べ利用者数8,118人)
(5) 社会福祉センターの管理運営

14. 那覇市老人福祉センター及び老人憩いの家の指定管理運営

- (1) 那覇市識名老人福祉センターの指定管理運営 (延べ利用者数40,608人)
①教室、講座の開催と同好会活動の支援 (10教室・9講座・18同好会、)
②地域防災見守り活動 (18回 延べ人数182人)

- ③習生受入 (51人)
④識名地域福祉まつり参加者 (2日間 2,620人)
(2) 那覇市小祿老人福祉センターの指定管理運営 (延べ利用者数27,780人)
①教室、講座の開催と同好会活動の支援 (11教室・8講座・24同好会)
②地域防災見守り活動 (27回 延べ人数186人)
③実習生受入 (100人)
④うるく地域ふれあい祭り参加者 (2日間 1,468人)
(3) 那覇市金城老人憩いの家の指定管理運営 (再掲) (延べ利用者数28,292人)
①教室、講座の開催と同好会活動の支援 (8教室・12講座・20同好会)
②地域防災見守り活動 (47回 延べ人数76人)
③実習生受入 (29人)
④金城地域福祉まつり参加者 (1,904人)

15. 那覇市児童館の指定管理運営

- (1) 那覇市識名児童館の指定管理運営 (延べ利用者数26,411人)
①児童館だよりの発行 (1回2,200部12回発行)
②行事・活動件数 (50件 延べ参加者 5,546人)
(2) 那覇市小祿児童館の指定管理運営 (延べ利用者数31,512人)
①児童館だよりの発行 (1回1000部12回発行)
②行事・活動件数 (71件 延べ参加者 5,883人)
(3) 那覇市金城児童館の指定管理運営 (再掲) (延べ利用者数43,482人)
①児童館だよりの発行 (1回2,000部12回発行)
②行事・活動件数 (68件 延べ参加者 7,413人)

16. 沖縄県共同募金会那覇市共同募金委員会の運営

- (1) 赤い羽根共同募金運動の推進 (26,023,353円)
(2) 歳末助け合い運動の推進 (11,644,183円)

17. その他の事業

- (1) 南部地区社会福祉協議会連絡協議会への参画 (26回)
(2) マイクロバス運行事業の実施 (124件)
(3) 物品等貸し出し事業の実施 (55件)
(4) ・社会福祉士援助実習生の受け入れ (12人)
・介護福祉士実習の受け入れ (11人)
・職場体験受け入れ (デイサービスあしびなー) (14名)

平成26年度決算 (単位：円)

事業活動収支計算書	
事業活動収入計 ①	633,655,404
事業活動支出計 ②	627,131,105
事業活動収支差額 ③＝①－②	6,524,299
事業活動外収入計 ④	22,179,097
事業活動外支出計 ⑤	21,751,865
事業活動外収支差額 ⑥＝④－⑤	427,232
経常収支差額 ⑦＝③＋⑥	6,951,531
特別収入計 ⑧	0
特別支出計 ⑨	2
特別収支差額 ⑩＝⑧－⑨	△ 2
当期末繰越活動収支差額 ⑪＝⑦＋⑩	6,951,529
前期繰越活動収支差額 ⑫	73,061,305
当期末繰越活動収支差額 ⑬＝⑪＋⑫	80,012,834
基本金取崩額 ⑭	0
基本金組入額 ⑮	0
その他の積立金取崩額 ⑯	1,900,000
その他の積立金積立額 ⑰	414,325
次期繰越活動収支差額⑱＝⑬＋⑭－⑮＋⑯－⑰	81,498,509

財 産 目 録			
流動資産	128,952,564	流動負債	52,280,079
固定資産	353,393,405	固定負債	94,071,960
資産合計	482,345,969	負債合計	146,352,039
		純資産	335,993,930

(単位：円)

資金収支計算書	
経常活動収入 ①	648,036,931
経常活動支出 ②	642,350,346
経常活動収支差額③＝①－②	5,686,585
施設整備等収入 ④	0
施設整備等支出 ⑤	1,448,376
施設整備等収支差額⑥＝④－⑤	△1,448,376
財務収入 ⑦	9,741,860
財務支出 ⑧	5,305,795
財務活動収支差額⑨＝⑦－⑧	4,436,065
当期資金収支差額合計⑩＝③＋⑥＋⑨	8,674,274
前期末支払資金残高 ⑪	67,998,211
当期末支払資金残高 ⑩＋⑪	76,672,485

(単位：円)

貸 借 対 照 表			
借 方		貸 方	
流動資産	128,952,564	流動負債	52,280,079
固定資産	353,393,405	固定負債	94,071,960
		基本金	3,000,000
		国庫補助金等特別積立金	95,498
		その他積立金	251,399,923
		次期繰越活動収支差額	81,498,509
計	482,345,969	計	482,345,969

1) 地域福祉活動計画の推進

那覇市地域福祉計画と一体計画である地域福祉活動計画が昨年度スタートし、これまでの事業の成果を踏まえつつ、2年目に入る安心生活創造事業の円滑な運営に必要な執行体制や事務局体制の推進に努めるものとする。地域住民をはじめ自治会、民生委員児童委員など関係機関や団体との連携強化を図るために地域福祉懇談会の単位民児協区ごとの開催を軸に、自治会単位等における地域見守隊の結成と福祉協力員の養成、地域ふれあいデイサービス活動並びにふれあいいきいきサロン活動の充実強化に努める。

2) 相談支援体制の充実強化

本年度から従来の嘱託相談員に専任相談員を配置し、これまでの基本姿勢を継承しつつ、狭間におかれておる問題・課題・深刻化する緊急課題を抜け漏れなくニーズを拾い、アウトリーチの必要なケースは地区コーディネーターや、本会内での事業担当者を始め、関係機関と協働・連携して解決に導く新たな総合支援体制の構築を目指す。

3) 生活困窮者自立支援制度の対応と低所得者等への支援

生活困窮世帯の対策は、生活困窮者自立支援法の関連となる県社協と連携し、自立支援に向けた適切な運用と事業の充実強化に努める。

4) 災害時における支援体制の構築

市当局から那覇市災害ボランティア中央センターである那覇市総合福祉センターがその機能を発揮できるように、建物を改修する設備整備もあり、沖縄において日常化している台風発生や沖縄全島に誘発する地震に対して、「那覇市災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」に沿って、災害ボランティアに対する住民への啓発を強化するなど、多様な活動の推進に努める。

5) 子ども・子育て支援新制度への対応と児童福祉事業の推進

子どもたちの居場所作りをテーマに、年々需要が高まっている本会の児童福祉に関する委託事業と地域福祉活動とが横断的に連携した事業の展開を図り、新制度に向けた支援策を検討し取り組む。

6) 新たな活動拠点の基盤整備事業

那覇市が掲げる協働によるまちづくりの関係団体等と相互に連携することを目的に新都心おもろまち旧銘苅庁舎に、なはし市民協働プラザがオープンした。そのプラザへの入居が決まり、新たな活動拠点が出来た。市内14のまちづくり団体との連携を図りながら、今年度は地域のニーズ調査を行い、市民ボランティア講座の開催等を通して、“地域福祉でまちづくり”の推進に向けて新たな活動拠点による地域福祉の活動強化を目指していく。

7) 共同募金運動の推進と自主財源の確保

地域福祉活動の財源としての共同募金運動の推進については、新たな募金運動の展開を模索し、充実強化に努める。その他、チャリティゴルフ大会、チャリティカラオケ大会、ならびにチャリティ芸能公演は、大きな財源の柱となっており、年々参加者や協力者も増えており、今後とも市民をはじめ企業の社会貢献も合わせて、ご理解と参加協力を得ながら継続事業として取り組む。

8) 介護保険事業等の安定的な経営と財政基盤の充実

本会の収益事業である介護保険事業は、国の介護保険法の改正の方向性を見極め、市町村が実施予定の地域支援事業の動向や地域活動との連携を注視しながら取り組む必要がある。障害福祉サービス事業については、収益事業の中でも大きな柱となっており、今後も介護保険事業はもとより社協全体の安定的経営運営を遂行していくためには、役職員の共通認識のもとで経営体制の強化と安定的・継続的な推進体制の構築を図ることに努める。

9) 総合福祉センター指定管理の受託に向けた取り組みについて

本年度は、総合福祉センター等指定管理者として5年間の指定期間の満了に伴い、公募選定による指定管理者としての管理運営の受託について、入居団体と連携を密にしながら那覇市における地域福祉活動の拠点確保に向けた調査研究に着手し、指定管理者として、これまでの経験、実績を踏まえて拠点を活かした地域活動の推進に努める。

以上、社会福祉を取り巻く環境が厳しい状況において、本会の抱える諸課題や様々な社会変動等について考慮しながら、役職員が一丸となって共通認識のもと那覇市地域福祉計画の基本理念である「あかちゃんからお年より みんなが主役 なはのまち ～支え合い あんしん育む ゆいまーる～」の実現にむけて、那覇市社協地域福祉活動計画に沿った事業の着実な実施に取り組むこととする。

重点事業

- 「第3次那覇市地域福祉計画」に連動した「那覇市地域福祉活動計画」事業の推進
- 安心生活創造事業等の国の施策に対する対応と地域住民や関係機関・団体と連携した多様な見守り活動の推進
- ふれあい福祉相談室の機能を活かした総合相談・支援体制の強化
- なは市民協働プラザへの入居及び関係団体との連携・ネットワークの構築
- チャリティ等の諸事業の推進と自主財源の確保
- 介護保険事業及び障害福祉サービス事業の継続性と安定的経営体制の構築
- 総合福祉センターへの指定管理者公募に向けた調査研究と指定管理者制度による施設機能を活かした地域福祉活動の推進

平成27年度那覇市社会福祉協議会 予算			
収入の部 (単位: 円、%)			
	勘定科目 (大)	平成27年度予算額	構成率
1	会費	6,000,000	0.9
2	寄付金	7,000,000	1.0
3	共同募金	19,983,000	2.9
4	市補助金	44,841,000	6.5
5	市受託金	250,893,000	36.5
6	県受託金	23,311,000	3.4
7	介護保険・障害福祉サービス	257,759,000	37.5
8	事業収入・雑収入・利息収入	9,180,000	1.3
9	拠点区分間繰入金収入・基金・繰越金等	68,568,000	10.0
	合 計	687,535,000	100.0
支出の部 (単位: 円、%)			
	勘定科目 (大)	平成27年度予算額	構成率
1	人件費支出	463,625,000	67.4
2	事務費支出	25,752,000	3.7
3	事業費支出・固定資産支出	135,697,000	19.8
4	貸付事業・分担金・助成金・負担金・借入金利息	9,294,000	1.4
5	拠点区分間繰入金支出	42,038,000	6.1
6	積立預金積立	500,000	0.1
7	その他の支出・予備費	10,629,000	1.5
	合 計	687,535,000	100.0

7月保育サービス講習会 受講生募集

主 催	那覇市社会福祉協議会 那覇市ファミリーサポートセンター	受 講 料	テキスト代・調理実習費・手作り玩具代は受講者の負担 写真2枚必要
対 象	年齢65歳未満・学生不可・那覇市民で講習会の全日程参加後、協力会員として登録、サポート活動ができる方	講習場所	那覇市総合福祉センター 2階
募 集	平成27年7月1日(水)～13日(月) 午前9時～午後5時センターにて	住 所	那覇市金城3-5-4
受付時間	午前9時30分～午後5時 (平日のみ)	講習期間	平成27年7月14日(火)～17日(金) 16日(木) 保育所体験実習あり
受付場所	那覇市ファミリーサポートセンター事務局 (電話での受付はありません)	問合せ先	☎098-857-8991 ※詳細についてはファミリーサポートセンターまでお問い合わせ下さい。

5月8日(金) ファミリーサポートセンター5月定例会報告

講師に福祉レクリエーションワーカーの南りつ子先生から身の回りにあるものを利用し チラシ、牛乳パック、ひも手品、お～きな輪、マンカラ遊び、注意分割体操など日々のサポート活動にも役立つ遊びや手作り玩具など盛だくさんの楽しい内容でした。

★6月の定例会は、助産師の石川 恵先生に夏の病児ケアと予防・現代の子育て事情等、皆さんの生活に役立つお話もお願いしています。ぜひ、ご参加下さい。

★5月11日より、銘苅庁舎3階にてファミサポの入会申し込み・ボランティア受付のみの業務がスタートいたしました。業務時間は、以下の通りです。

■月曜日：午後13時～午後16時・水曜日：午前10時～午後15時 ■金曜日：午前10時～午後15時

ファミリー・サポート・センターとは？

「子育ての手助けをしてほしい」「子育ての手助けをしたい」という人たちが会員となって地域で相互援助活動を行う会員組織です。

利用するには、センターでの会員登録が必要です。

＊依頼会員：那覇市在住・お子さん3カ月～小学校6年生まで

＊協力会員：那覇市在住・65歳未満・センター指定の講習会を修了した者

＊両方会員：上記のどちらも含む

連 絡 先：☎ 098-857-8991

受 付：月～金 午前9時～午後17時



▶ファミリーサポートセンター5月定例会「楽しい遊び・マンカラ」に皆さん夢中!!!

かなぐすく児童館

～こどもの日スペシャル～

かなぐすく児童館では5月5日(火)のこどもの日にスペシャルイベントを行いました。

リクエストミニシアターではこどもたちのリクエストに答えて「バイマックス」を上映しました。親子手作りワークショップでは、先生に教わりながらカズー(笛)を作りました。お昼のおやつタイムには手づくりぜんざいが振舞われ、おいしい笑顔がたくさん見られました。

また、プロミュージシャンrica tomorrowさんと児童館の先生たちでミニコンサートが行われ、独特の節回しのやさしい歌声とさんごの楽器でいやしのひとときを過ごしました。

こども達も手づくりのカズー(笛)で参加し、「あったかいんだからあ～」など合奏や合唱をしました。この日は約70名のこども達の来館があり、いろいろなイベントを楽しみました。



那覇市地域ふれあいデイサービス 118ヶ所目開所！

平成27年度4月24日(金)那覇市地域ふれあいデイサービス118ヶ所目にあたる「ひまわりの会」の開所式が行われました。余興では、ひまわりの会の皆様によるエイサー・フラダンス。レク支援員と脳トレや体操・民舞を楽しみ、最後はカチャーシーで盛り上がりしました。「ひまわりの会」があります安謝岡野区は、近隣同士の結びつきが強く、昔から顔なじみの方が多く住まわれている地域です。会の名称“ひまわり”のように、元気いっぱい明るく楽しく和やかに、地域の皆様が集える拠点となるように願い命名しました。毎月第1金曜日 午後2時～4時まで。地域の皆様！気軽にお立ち寄りください！！



▲118カ所目が開所。地域ふれあいデイサービス「ひまわりの会」の皆さん。

「8050問題」を知っていますか？

2月に受講した研修会の中で、標記の“8050問題”というお話を聞きました。“8020”は皆様身近な言葉としてお聞きになるかもしれません(満80歳で20本以上の歯をのこしましょうという運動です)。さて、この8050問題というのは、80代の親と50代の子が同居するケースで、親の介護の問題を抱えていたり、子どもが障がいを抱えているなど、その世帯に複数の生活課題を抱えている状況を示すようです。本会でもゴミ屋敷やそれに近い事例で、なんらかの生活課題がきっかけで自宅の片づけが必要な状況になっている世帯があります。こうした事例からも8050は既に身近な問題になっているのではないかと感じています。

本会が進める「地域見守り隊」の取り組みはこうした地域で生活課題を抱えている人々を早期に発見し、早期に初期対応できることを目指しています。身近な地域住民の皆さんが日頃の訪問活動や声掛けからちょっとした困りごとのサインに気づけるような地域づくりを目指していきたいと思ひます。



★地域をつなぐ地区コーディネーターとは★

地域における支援を必要とする人々の生活圏において、**制度の狭間にある要援護者等の見守り・発見、相談から必要なサービスへのつなぎなど等、セーフティネット機能の体制づくり**、福祉関係機関や地域住民参画への福祉のまちづくりコーディネート等を行います。

障がい者生活支援センター ゆいゆい

今回はセルフプランで対応できるサービスと対応できないサービスについて説明します。

基本的にセルフプランで利用できるサービスは、児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護・就労継続支援B型等、「自宅から通う」サービスになります。

居宅介護や重度訪問介護等のヘルパーサービス、療養介護や施設入所支援のサービス受給者については、相談支援事業所の作成する「サービス等利用計画案」が必要になってきます。

詳しくは、那覇市障がい福祉課までご連絡ください。

※セルフプランとは
サービス等利用計画案を、本人・家族等で作成・提出し、一部の福祉サービスを利用することができる制度です。(※セルフプランで利用できないサービスもあります。)

セルフプランの一部導入について。



組織名

福祉部障がい福祉課

業務内容

身体・知的障がい者の福祉に関すること、障害者福祉センターの管理、精神保健福祉に関すること

連絡先

(098) 862-3275

ゆんたく相談室とは？

ゆいゆいゆんたく相談室では、毎週火・木曜日の14～17時に自身も障がいを持つ相談員(ピアサポーター)が、施設や在宅で暮らしている障がいをお持ちの方やその家族の悩みや困りごとの相談にのっています。それ以外にも出張相談や講演(福祉学習)も積極的に行っているの、気軽にお問い合わせください。
☎891-8454/FAX857-6052



ボランティア募集

098-857-7766

《情報の見方》

①活動内容 ②日時 ③場所 ④駐車場 ⑤人数 ⑥条件 ⑦備考

ボランティアを希望する方は、ボランティアセンターまでご連絡ください



1 手芸のボランティア(女性)講師募集

県指定障がい福祉サービス「癒しの家スマイル(女性専用)」では、手芸の女性講師ボランティアを募集しています。



- ①手芸の講師ができる女性。
- ②平成27年5月1日～平成28年3月31日 13:30～14:30 ③那覇市久茂地2丁目
- ④無 ⑤1名 ⑥大学生以上の女性。
- ⑦交通費、昼食代、実費弁償費等有り。

3 介助ボランティア募集

車イスバスケットの練習時のボランティアを募集します。練習前の車イスを出し入れや移動のお手伝い、準備のお手伝いのボランティアを募集しています。車イスバスケットや介護に興味のある方お待ちしています。



- ①練習準備 ②月曜日 pm7:00～・木曜日 pm6:30～
- ③寄宮中学・浦添サンアビリティー ④駐車場あり ⑤2人 ⑥男性

2 通学付き添いボランティア募集

特別支援学校に通う男の子(知的障がい児)の通学支援のボランティアを募集しています。ご両親とも共働きで朝早くに出勤するので、スクールバスの時間に合わせる事が厳しい状況です。活動内容は、「コープこくば」から国場バス停まで付き添ってもらい、バスに乗るまで見届けていただきます。男の子は人見知りをしていない明るい性格です。毎日のことなので、多くの方にご協力をお願いかけます。ぜひ皆さんの可能な日を提供してください。



- ①通学の付き添い見守り ②月～金 / 午前7:50～8:30(約40分)
- ③コープこくば～バス停(徒歩5分弱) ⑦ボランティア保険自己負担。

4 通院ボランティア募集

通院といっても人ではなく病気の猫を病院に定期受診するための送迎ボランティアを募集しています。



- ①依頼者の家から病院まで
- ②5日に1度 午前中 ③那覇市金城
- ④駐車場有り。 ⑤1人 ⑥女性(猫好きな方)

収集ボランティア(ボランティアBOX)

那覇市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターでは、身近なボランティア活動として書き損じハガキ、未使用ハガキを集める「収集ボランティア」を推進しています。皆様から頂いた収集物を換金し、紙オムツ券に替え、在宅の障がいを持つ方へプレゼントしています。しかし、最近では収集物の集まりが少ないので、困っています。年齢を問わずに誰でも活動できますので、ぜひ多くの市民の皆様にご協力とご提供いただきますよう、那覇市社会福祉協議会はお待ちしています。集めるものは①古切手(切手ははがさず、1cm枠をとる)②書き損じハガキ③未使用ハガキ④プリペイドカードです。集めたものは、各公共機関、施設、那覇市役所本庁舎、真和志・首里・小禄各支所、イオン那覇店、沖縄都市モノレール駅に設置されている、「ボランティアBOX」に投かんして下さい。直接ボランティアセンターにお持ちいただいても大歓迎です。



大同火災海上保険(株)よりボランティアBOX贈呈



取組団体
5月受付分

収集ボランティア

1	イオン琉球株那覇店
2	沖縄都市モノレール(株)
3	那覇市保健所 健康増進課
4	美田地域 ふれあいデイサービス
5	那覇市役所 市営住宅課
6	沖縄県庁 総務部 私学課
7	大同火災海上保険(株)
8	沖縄県庁 農林水産部 水産課
9	(株)照正組(与那原町)
10	一般社団法人 kuku
11	パシフィックホテル沖縄
12	ホテル日航 那覇グランドキャッスル